

イザヤは、神様が 見せてくださった 幻について、  
こう 書き記しています。「私は、主が 天の 王座に 座って  
おられるのを見た。その 栄光は 神殿に 満ちていた。主の  
そばには、二人の 天使が 立っていた。天使には 六つの  
つばさがあり、おのおの その 二つで 顔を おおい、  
二つで 両足を おおい、二つで 飛び交っていた。」<sup>1</sup>

聖なるかな、  
聖なるかな、主は  
聖なるかな！

わたしは だれを  
つかわそうが。だれが われわれの  
ために 行くだろうか？

ここに わたしが  
おります。わたしを  
おつかわしてください。<sup>2</sup>

紀元前 8 世紀から 7 世紀に かけて、ユダ王国は  
四人の 王様に 治められました。ウジヤ王、ヨタム王、  
アハズ王、それに ヒゼキヤ王です。この期間、  
イザヤは ユダの 民に 対して、神様からの 重要な  
預言者でした。

神様は イザヤに、ユダの 民の 所へ 行って、  
偶像礼拝を やめ、神様が 求めておられる 元の  
暮らし方にもどる ことを 伝えるように 求め  
ました。つまり、神様を 愛し、敬い、たがいへの  
愛と あわれみを持つ ということです。イザヤの  
預言は、聖書の中の イザヤ書に 書かれています。

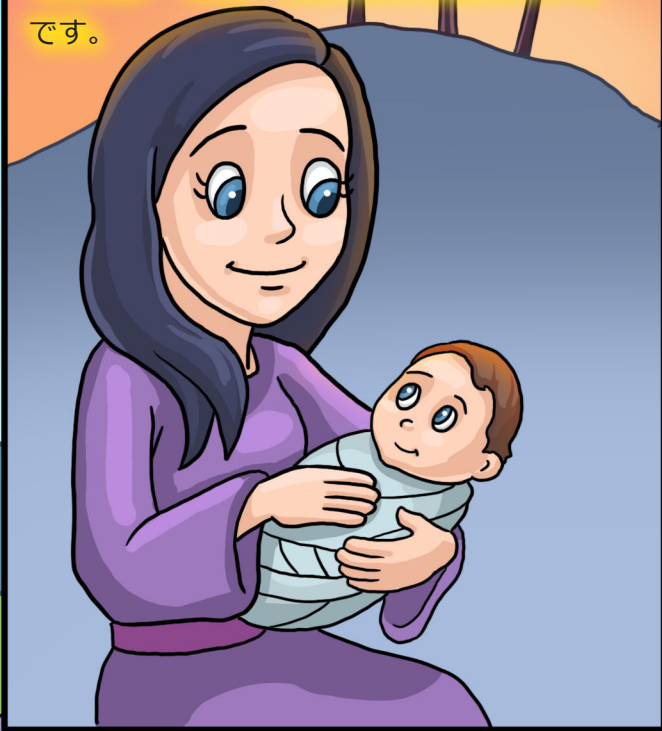
旧約聖書に 出てくる  
信仰の 人：

預言者イザヤ

<sup>1</sup> イザヤ書 6:1-3 参照

<sup>2</sup> イザヤ書 6:8 参照

かみさま  
神様が イザヤを通して 与えられた  
かずかず よげん なか  
数々の 預言の中には、イエス様についての  
たいせつ よげん  
大切な 預言もあります。それは、イエス様が  
う なんびやくねん まえ あた  
生まれる 何百年も 前に 与えられました。  
うち ひと  
その内の 一つは、イエス様の 誕生について  
です。



み  
「見よ、おとめが みごもって 男の子を 産む。その名は  
おとこ こ う  
インマヌエルと となえられる。インマヌエルとは、  
かみ  
『神が わたしたちと 共に います』という 意味である。」  
しよ さんしやう  
(イザヤ書 7:14参照)

イエス様について イザヤが 書き記した 最も おどろく  
べき 預言の 一つは、イザヤ書の 第53章です。

かれ  
「彼は われわれの 罪のために きずつけられ、われわれの  
ふ ぎ  
不義のために くだかれたのだ。その 打たれた きずつによって、  
われわれは いやされたのだ。」 (イザヤ書 53:5参照)



イザヤは、イエス様が 世界を 治める  
ようになる、未来の 世界の 美しい  
すがた かん まぼろし か する  
姿に 関する 幻も、書き記しています。  
こひつじ とち やど  
「オオカミは 小羊と 共に 宿り、  
こ とう ふ ころし  
ヒョウは 子ヤギと 共に 伏す。子牛と  
わか とち ちい  
若い ライオンは 共に いて、小さい  
こども みちび  
子供に 導かれる。」  
しよ さんしやう  
(イザヤ書 11:6参照)



文：エバン・カレン 絵：Y.M.  
デザイン：ステファン・ミーラー  
出版：マイ・ワンダー・スタジオ

Copyright © 2017年、ファミリーインターナショナル

"Faith-filled Models from the Old Testament\_Isaiah, the Prophet"--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 信仰、神の偉大な人々